

秋田県

Akita



都道府県 基本情報

全国トップクラスの学びの場・秋田県で修学旅行を

秋田県は首都東京のほぼ真北450kmにあり、東北地方の日本海に面した北西部に位置しています。総面積は11,637km²で、全国第6位の広さです。

自然、秋田杉、お米、お酒はもちろんのこと、風力・地熱発電など再生可能エネルギーや全国トップクラスの学力を誇る教育、登録数日本一の国指定重要無形民俗文化財など、秋田が誇る資源は豊富にあります。

また、世界自然遺産の白神山地や世界文化遺産の「北海道・北東北の縄文遺跡群」、ユネスコ無形文化遺産登録の「男鹿のナマハゲ」など、独自の自然・文化を体験できる教育プログラムが揃っています。

新千歳空港
↓
秋田空港
(55分)

羽田空港
↓
秋田空港
(65分)

伊丹空港
↓
秋田空港
(80分)



秋田県の概要

県庁所在地	秋田市
人口	94.3万人 (2021年12月1日現在)
主な産業	農林業、エネルギー産業など
歴史	鉱山採掘や林業等の産業を中心に行ってきた
文化	竿燈まつりや男鹿のなまはげなどの豊富な伝統芸能
自然	世界自然遺産の白神山地を始めとした山々と日本海
教育	全国学力テストでトップレベルの成績
問い合わせ	秋田県観光文化スポーツ部 観光振興課
電話	018-860-2261
メール	Kanko@pref.akita.lg.jp

秋田県知事 佐竹敬久から 秋田県へ来られる皆さまへ

全国トップクラスの学力を誇る本県では、机上での学習にとどまらず、豊かな自然や文化を生かした学びを取り入れており、子供の主体性や自由な感性を育む土壤が整っている地域であります。

このたび、鉱山の歴史と現代のリサイクル技術をSDGsの視点から学ぶ環境学習や、郷土料理「きりたんぽ」を通じた地域学習、生徒たちの一体感を高める文化体験「踊り教室」など、多様な学び・体験をご用意いたしました。

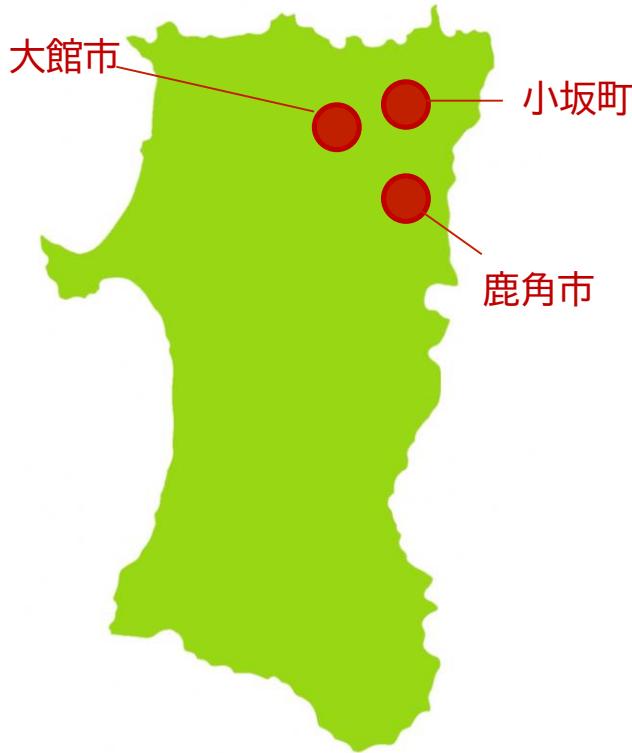
他県にはない本県独自の学び・体験は、日常生活では得られないような見聞を広めるとともに、自然や文化などに親しむための絶好の機会と考えております。

全国各地からのお越しを心からお待ち申し上げております。



秋田県知事 佐竹 敬久

十和田八幡平・大館エリア(鹿角市・小坂町・大館市)



エリアのご紹介

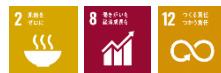
鹿角市、小坂町、大館市がある「十和田・八幡平・大館」エリア。十和田八幡平国立公園は、山、渓谷、湖のさまざまな景色が楽しめる、雄大な自然が広がっています。また、近隣には多様な天然温泉が点在しています。

鹿角市はかつて尾去沢鉱山で栄えた地域。ジンギスカン鍋で食べる「鹿角ホルモン」や、ユネスコに登録された「花輪ばやし」、史跡・大湯環状列石など、観光地が多いエリアです。

小坂町には「小坂鉱山事務所」や明治の芝居小屋「康楽館」など、国指定の重要文化財が多く、かつての建築様式などを見ることができます。

大館市は渋谷のハチ公のふるさととして知られ、大館駅前には観光交流施設「秋田犬の里」があります。

道の駅かづの あんとらあ (鹿角市)



旅の休憩、お土産の購入、団体でのお食事など、様々な利用ができる鹿角地域の情報発信施設です。郷土料理や伝統芸能など、「鹿角らしい」体験ができます。

【体験内容】

みそ付けたんぽ作り体験、花輪の祭り体験等

【受入人数】

最大300人(体験による)

【所要時間】

30~120分(体験による)

【問い合わせ先】

(株)かづの観光物産公社 0186-22-0555

大館市の農山村体験 (大館市)



秋田名物として有名なきりたんぽの本場とされる大館市。秋田県特産米あきたこまちの田植えや収穫、野菜、果樹の農作業などの体験を通じて、コミュニケーションの大切さや思いやりの心を学べます。

【体験内容】

農業体験、1日ふれあい農家体験

【受入人数】

150人(応相談5~7人/農家)

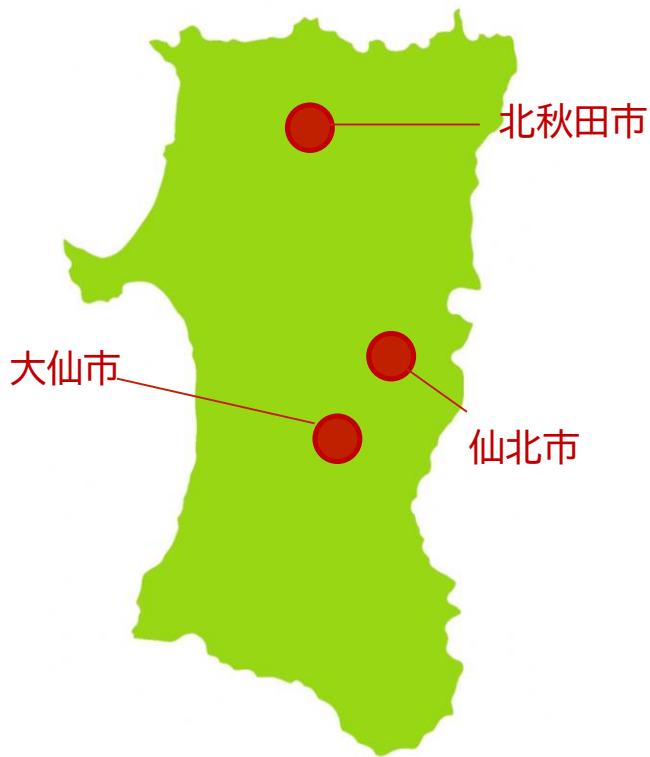
【所要時間】

農家体験:2時間程度 1日ふれあい農家体験:要相談

【問い合わせ先】

大館市まるごと体験推進協議会 0186-43-7149

仙北・大仙・阿仁森吉エリア(仙北市、大仙市、北秋田市)。



エリアのご紹介

仙北市、大仙市、美郷町、北秋田市、上小阿仁村がある「仙北・大仙・阿仁森吉」エリア。

毎年8月の最終土曜に開催される「全国花火競技大会」は、大仙市大曲で行われ、全国から多くの観光客が訪れます。雄物川河川敷から眺める花火は全国屈指の美しさです。

みちのくの小京都と表現される仙北市角館には、江戸時代の武家屋敷通りが今もその当時の風情を残しています。春には武家屋敷通りの枝垂れ桜、秋には田沢湖や抱返り渓谷など、紅葉と水の碧さとのコントラストは絶景です。

「綴子大太鼓」という世界最大の太鼓を打ち鳴らす伝統行事がある北秋田市鷹巣。仙北市角館から鷹巣を結ぶローカル鉄道「秋田内陸縦貫鉄道」からは、豊かな自然が広がる絶景を楽しむことができます。

あきた芸術村 (仙北市)



あきた芸術村は、「劇団わらび座」の本拠地としてわらび劇場を中心とした複合文化施設です。「劇団わらび座」の演劇鑑賞や踊り体験などの人気のプログラムのほか、昼食場所や宿泊施設としても利用することができます。

【体験内容】

ミュージカル観劇と創作踊り教室、農作業体験等

【受入人数】

300人

【所要時間】

1~3時間(体験による)

【問い合わせ先】

あきた芸術村:0187-44-2500

「大曲の花火」体験 (大仙市)



「花火のまち」ならではの、花火をテーマにした総合的な体験プログラムです。工場見学や、模擬花火玉づくりのほか、自分たちだけのオリジナル花火を打ち上げます。

【体験内容】

模擬花火玉づくり体験、資料館見学、花火観覧等

【受入人数】

模擬花火玉作り体験:100名以上応相談

資料館「はなび・アム」見学:60名以上応相談

オリジナル花火観覧:制限無し

【所要時間】

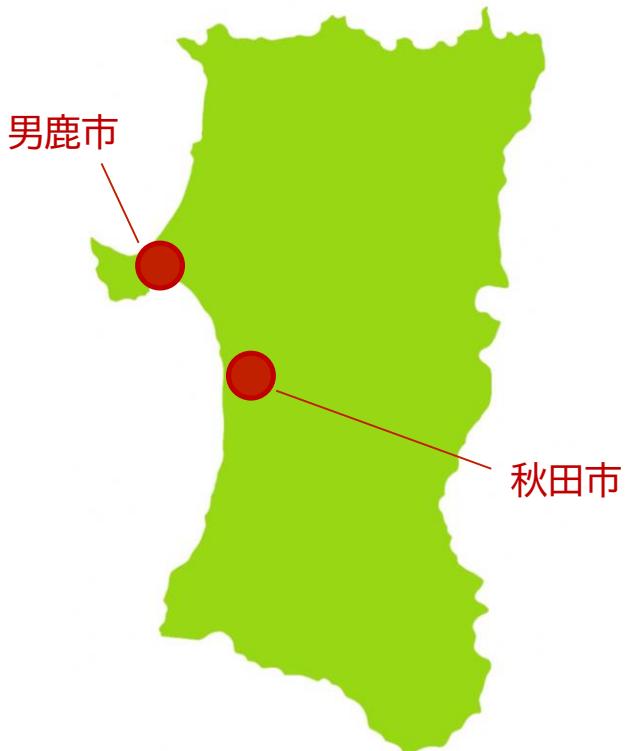
30分~2時間(体験による)

【問い合わせ先】

(株)花火創造企業:0187-73-5101

花火伝統文化継承資料館:0187-73-7931

秋田中央・男鹿エリア(秋田市、男鹿市)



エリアのご紹介

秋田市、男鹿市などがある秋田中央・男鹿エリア。新幹線の発着駅があり、空の玄関口である秋田空港もある秋田市。江戸時代に秋田藩(久保田藩)を治めた藩主・佐竹氏の居城であった久保田城跡である千秋公園は、市民の憩いの場です。春にはソメイヨシノが咲き乱れ、お花見スポットとしても人気です。秋田市民市場や五城目の朝市など、秋田県の食材に触れられる場所もあります。交通の便も良く、レンタカーだけでなく、バスや列車を利用した旅も楽しめます。

男鹿市は、ユネスコ無形文化遺産に登録された「男鹿のナマハゲ」が有名な地域であり、その歴史を知ることができる「なまはげ館」や「男鹿真山伝承館」などの文化施設のほか、「男鹿半島・大潟ジオパーク」などの独自の地形も見られます。

伝統の神業「竿燈」修行

(秋田市)



秋田市民俗芸能伝承館(ねぶり流し館)では、270年以上前から続く秋田竿燈まつりを学ぶことができます。秋田を代表するまつりについて学び、体験することで、伝統文化への関心を深めることができます。

【体験内容】

施設・実演見学、竿燈やお囃子へのチャレンジ

【受入人数】

50人(応相談)

【所要時間】

1時間～3時間30分

【問い合わせ先】

秋田観光コンベンション協会:018-824-1211

なまはげ体験

(男鹿市)



「男鹿のナマハゲ」の体験を通して、家族や人との絆、自然への畏敬などの多くのことを感じ、学ぶことができます。

【体験内容】

なまはげ館見学、なまはげ行事体験、なまはげ太鼓

【受入人数】

なまはげ館・男鹿真山伝承館:150人

男鹿温泉交流会館 五風(なまはげ太鼓):300人

【所要時間】

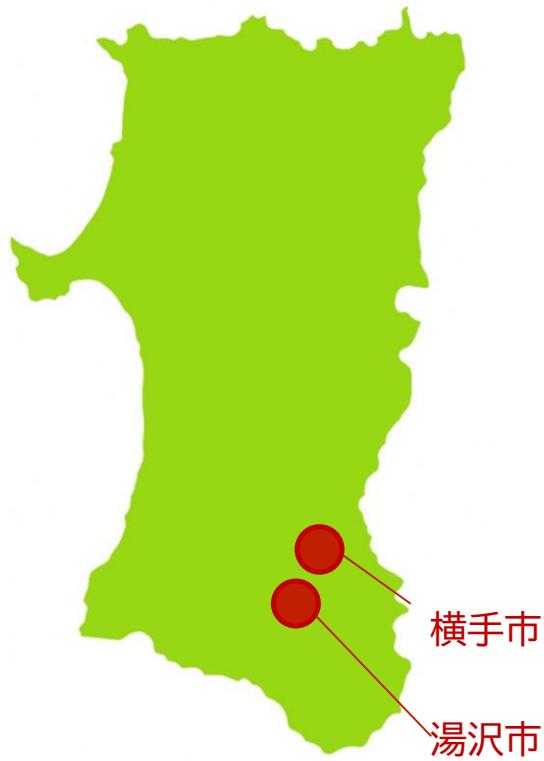
40分～90分(体験による)

【問い合わせ先】

なまはげ館:0185-22-5050

男鹿温泉交流会館 五風:0185-33-3191

横手・湯沢・雄勝エリア(横手市、湯沢市)



エリアのご紹介

横手市、湯沢市、羽後町、東成瀬村がある横手・湯沢・雄勝エリア。

秋田県内陸部にある横手市は、豪雪地帯として知られています。冬の小正月行事として知られている「かまくら」は横手で450年続く民族伝統行事。雪で作った室の中に水神様を祀り、地元の子供達が甘酒やお餅で訪れた客人をもてなします。同市増田地区は、重要伝統的建造物群保存地域にしてされており、昔ながらの町並みが今も残されています。

湯沢市には、稻庭うどんや川連漆器などの伝統的な産業が多く遺されています。また、小安峡や川原毛地獄など、温泉や地熱資源も豊富な地域です。



稻庭うどん手作り体験

(湯沢市)



昔ながらの製法を頑なに守り、生み出される稻庭うどん。特徴である、コシの強さを生み出す「手綯い」を中心に、つぶす、延ばしなどの手作業の一つひとつの行程を実際に体験でき、後日完成品を受け取ることもできます。

【体験内容】

製造体験コース、製造・調理体験コース

【受入人数】

30人

【所要時間】

1時間～1時間30分

【問い合わせ先】

佐藤養助(さとうようすけ)総本店:0183-43-2911



横手市増田まんが美術館

増田のまちなみ

(横手市)



横手市増田まんが美術館は日本で唯一の「マンガ原画収蔵」をテーマとした美術館です。直筆のマンガ原画の展示や、原画をデジタル保存する作業も見学することができます。周辺には明治から昭和初期にかけて建てられた商家やまちなみが現存し、エリア一体の班別活動にも対応しています。

【体験内容】館内見学

【受入人数】

横手市増田まんが美術館:100人(団体は要相談)

班別活動は要相談

【所要時間】1時間～2時間

【問い合わせ先】

横手市増田まんが美術館:0182-45-5569

増田町観光協会:0182-45-5541

学習テーマ別施設紹介

世界遺産の縄文遺跡で学ぶ



大湯環状列石

【所在地】鹿角市
【受入人数】100人
【問い合わせ先】
大湯ストーンサークル館:0186-37-3822



伊勢堂岱遺跡

【所在地】北秋田市
【受入人数】要相談
【問い合わせ先】
伊勢堂岱縄文館:0186-84-8710



秋田のエネルギーと環境を学ぶ



能代エナジアムパーク

【所在地】能代市
【受入人数】40~100人
【問い合わせ先】
能代エナジアムパーク:0185-52-2955



サイエンスパーク・能代市子ども館

【所在地】能代市
【受入人数】要相談
【問い合わせ先】
サイエンスパーク・能代市子ども館:00185-52-1277

近代日本の礎 鉱山の歴史を学ぶ



小坂鉱山事務所

【所在地】小坂町
【受入人数】80人
【問い合わせ先】
あきたエコタウンセンター:0186-29-3100

2つの施設
は徒歩圏内



あきたエコタウンセンター

【所在地】小坂町
【受入人数】要相談
【問い合わせ先】
小坂鉱山事務所:0186-29-5522

限りある資源
について考える
きっかけに！



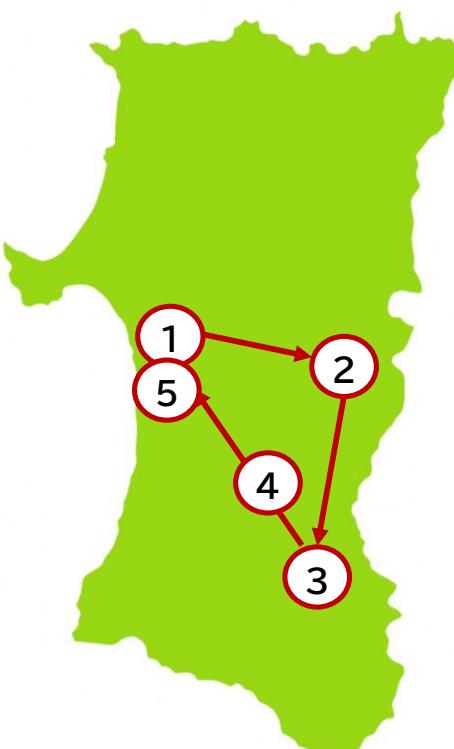
秋田国家石油備蓄基地

【所在地】男鹿市
【受入人数】100人程度
【問い合わせ先】
秋田石油備蓄基地株式会社
男鹿事業所 総務課 0185-24-6111



モデルコース1(秋田空港発着 "秋田でチームビルディング"コース)

午前中 1日目	10:30頃 秋田空港	12:00着 13:50発 トハウスマジック 田沢湖遊覧船 田沢湖レース 昼食 田沢湖見学	14:00着 15:10発 クニマス未来館 クニマス飼育展示 環境学習	15:15着 15:55発 思い出の鴻分校 廃港となった木造校舎を見学	16:25着 あきた芸術村 温泉ゆぽっぽ 踊り体験、夕食 (夕食後)踊り発表会
	9:00発 温泉ゆぽっぽ 出発	10:00着 13:30発 秋田ふるさと村	14:00着 17:40発 花火創造企業 見学、模擬花火玉作り 座学研修、見学	17:55着 18:50発 大曲エンパイアホテル 夕食	19:10着 19:30発 大曲の花火鑑賞 自分たちでアイディアを 出したオリジナル花火
2日目	9:00発 温泉ゆぽっぽ 出発	9:10着 秋田ふるさと村	14:00発 はなび・アム 見学、模擬花火玉作り 座学研修、見学	17:55着 18:50発 大曲エンパイアホテル 夕食	20:30着 秋田キャッツ ルホテル
	施設見学、昼食 手作り体験、お土産	見学、模擬花火玉作り 座学研修、見学	夕食	自分たちでアイディアを 出したオリジナル花火	
3日目	9:00発 秋田キャッツ ルホテル出発	9:10着 秋田市内班別研修	14:00発 千秋公園、佐竹資料館、ねぶり流し館、 秋田県立美術館、赤れんが郷土館 等	秋田空港	帰着・解散



【クニマス飼育展示・環境学習】
山梨県西湖で2010年に発見された「奇跡の魚クニマス」を飼育・展示しています。

②クニマス未来館



【手作り体験】
曲げわっぱや桜皮細工など、世界に一つだけのオリジナル作品を作ることができます。

③秋田ふるさと村



④花火創造企業

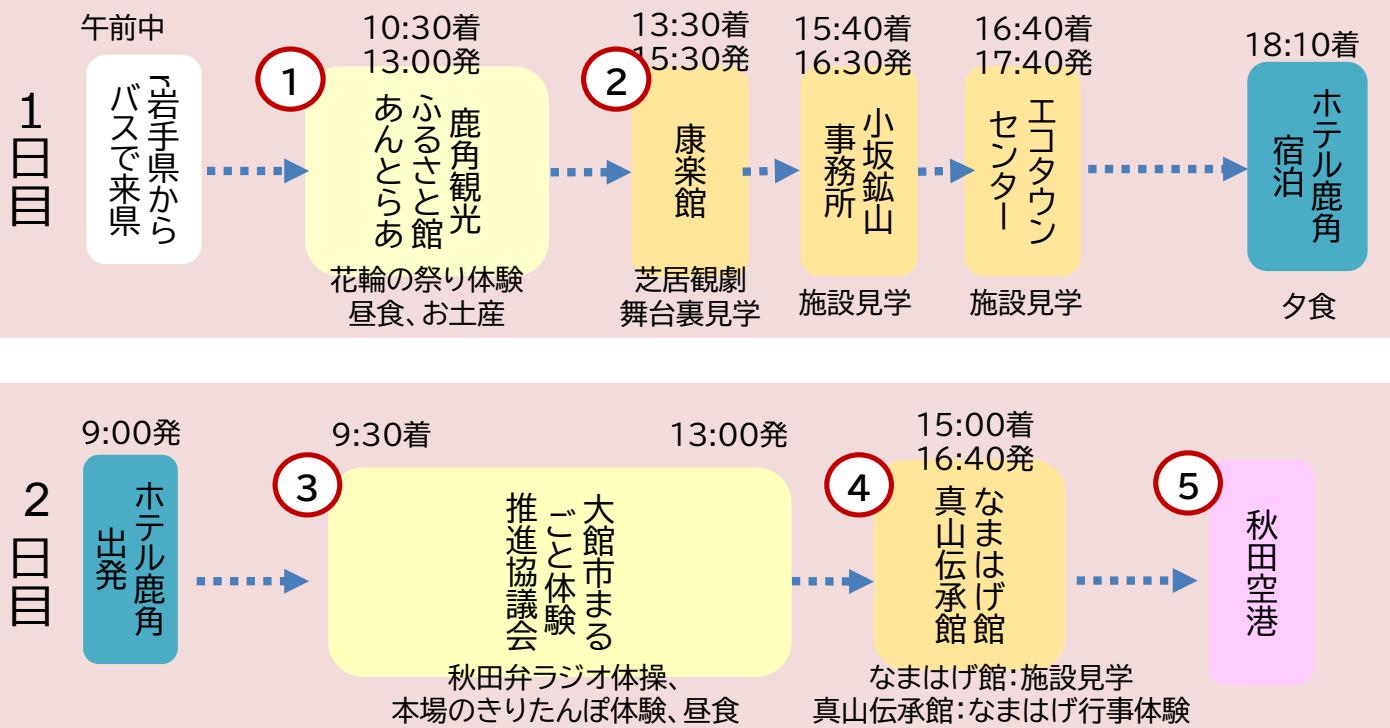


【模擬花火玉作り体験】
花火師がどのようにして花火を作っているのかを実際に学ぶことができます。

【観光案内人と巡る秋田城下町】
周辺施設見学を組み合わせたまちあるきができます。

モデルコース2

(岩手県～秋田県～秋田空港発 "秋田で修学旅行"定番コース)



①鹿角観光ふるさと館「あんとらあ」



【花輪の祭り体験】

ユネスコ世界無形文化遺産にも登録されているお祭り「花輪ばやし」と、「花輪の町踊り」を、地元の担い手の指導で体験します。

②康楽館



【舞台裏見学】

普段はなかなか見ることができない舞台裏を歴史的価値も含めて黒子が紹介するほか、芝居を観劇することができます。

③大館市まるごと体験推進協議会



【本場のきりたんぽ体験】

「きりたんぽ」の本場とされる大館市で、地域の人々と伝統食を作り、食し、交流する体験を通じて、地元の食文化について顧み、考えるきっかけとなります。

④男鹿真山伝承館



【なまはげ体験】

元来、民俗行事として大晦日のみ行われ、地元の人以外にはなかなか見ることのできなかったナマハゲ習俗を再現しています。

